



四国観光 第六弾

愛媛県編②

前回に引き続き、今月も愛媛県を紹介します。今回は、今夏に行われるイベントや文化施設など、観光情報を中心に伝えます。肥後橋にある愛媛県事務所には、詳細資料や紹介ビデオもありますし、職員の方から生の情報を得ることが出来ます。酒類や菓子、じゃこ天をはじめとする物産品も販売しています。気軽にお訪ねください。

中央部と南部エリア

愛媛県の観光エリアは、中央部、南部、東部、しまなみに大別されます。中央部には、日本最古の温泉と言われ、3千年の歴史を誇る道後温泉(松山市)があります。奈良時代に書かれた「伊予国風土記」には、「出雲の国の大國^{おおくにぬしののみこと}主命と少彦名命^{すくなひこなのみこと}が伊予を旅したとき、急病に苦しむ少彦名命を入浴させると、たちまち元氣を取り戻し、喜んで命^{みこと}は石の上でおり出た」とあり、伝説の玉の石が本館の一角に保存されています。泉質は単純泉で、リウマチや貧血に効能があります。道後温泉から松山駅まで、夏目漱石の小説「坊ちゃん」にちなんで命名された「坊ちゃん列車」の乗車もお勧め。松山城を周回するように松山駅まで約15分の運行ですが、マッチ箱のような車両、笛の音や車掌の服装は「坊ちゃん」が書かれた当時を再現しています。この時期では、大洲町^{おおす}の「肱川の鵜飼^{ひしかわ}」が見物です。鵜飼とは、訓練された鵜を使って鮎などを捕る漁法で、鵜の食道内でくわえた鮎などを一気に気絶させるので、傷がつかず新鮮なのが特徴です。大洲藩では天皇、貴族、大名などへの献上品として保護してきました。現在では、乗合船で新鮮な川魚に舌鼓を打ちながら、雅な川遊びを2時間堪能することが出来ます。また、肱川でのカヌー体験、専用コースでのマウンテンバイク体験や竹細工、うちわ作りの伝統文化に触れる体験プログラムもあります。

南部エリアは宇和島市の闘牛が圧巻。闘牛の起源は、17世紀後半さかのぼります。宇和海を漂流していたオランダ船を福浦の漁民が救助し、その礼として贈られた2頭の牛が格闘したのが始まりとのこと。宇和島闘牛は年に5回本場所が行われ、次回は7月24日に開催されます。闘牛に出場する牛は、日々、世話をする勢子^{せしこ}に鍛えられ、本番前は減量を行います。直前には、



軟禁状態にされ闘争本能を引き出し、決戦前に焼酎やマムシ酒、特別食を口にし出陣します。1トンを超す肉弾戦の迫力、そして戦いの参謀となる勢子の駆け引きが勝敗を決します。宇和島では戦いの給金を勝ち牛に4割、負け牛に6割払う習わしです。敗者をいたわる気持が、勝負をこえて今日の敵は明日の友とする、これが宇和島気質といえましょう。

東部エリアとしまなみエリア

東部エリアでは、7月1日から10日間わたって西日本の最高峰石鎚山（1982メートル、西条市）で、山開き大祭が行われます。石鎚神社本殿にある3体のご神体が頂上の社に運ばれ、10日間鎮座する伝統行事です。「仁」「智」「勇」の三体の御神体が載った三台の神輿を、白装束に扮した全国からの信者がロープで引き上げる様は厳肅というより勇壮です。この神事によって無病息災、家内安全等が祈願され、山開き期間中は3万5千人もの登山者が訪れるようです。新居浜市の総合科学博物館は、宇宙や地球の不思議や人体の神秘、力学などの科学の面白さをバーチャルフォトギャラリーと立体模型を駆使して紹介しています。特に、プラネタリウムは最新鋭の工学式投影機と全天周デジタル投影システムを組み合わせたハイブリッド方式で、直径30メートルのプラネタリウムは世界一のスケールです。日常感じる不思議の数々の核心を楽しく学べることで、目にする対象に深い関心が生まれ、視野が広がるきっかけになるかもしれません。

しまなみエリアは、瀬戸内海に大小様々な島々が浮かび、その島々を七つの橋が結ぶ「瀬戸内しまなみ海道」が美しい風光明媚な地域です。このエリアで主役となるのは、やはり、室町時代に瀬戸内海を支配した村上水軍です。来島、能島、因島をそれぞれ根拠地とする村上三氏を中核として、瀬戸内海の制海権を握りました。海賊行為や警護料徴収などを行いましたが、最終的には羽柴秀吉の海賊停止令によって勢力が衰退したとされています。今治市では、村上水軍の子孫を題材にした映画「瀬戸内海賊物語」の製作を今夏8月に開始し、今治の観光誘致を図ることになりました。ストーリーは、村上水軍の子孫の女の子が洞窟の島で友達と埋蔵金を探す冒険物です。7月下旬には、村上水軍の小早船を復元し、70チームがその速さを競うレースが開催されます。ほか、しまなみルート上の広島県尾道市の平山郁夫美術館では、同氏の薬師寺大唐西域壁画大下図や少年時代の絵画などが展示されています。そのほか、地場産業のタオル製造工程が見られるタオル美術館（今治市）、玉川町出身の実業家徳生忠常氏の近代洋画を展示する玉川近代美術館、世界各国の食文化を紹介し、世界各国の料理も楽しめる日本食研究文化博物館などの文化施設があります。

最後に、愛媛が輩出したゆかりの人を紹介します。ライト兄弟より先に、ゴム動力のガラス型の自作模型飛行機の飛行実験に成功した二宮忠八、「燃えあがる緑の木」などの作品が評価されノーベル



④日本最古の温泉と言われ、3千年の歴史を誇る道後温泉
⑤闘牛の起源は、17世紀後半



文学賞を受賞した大江健三郎、南無阿弥陀仏を唱えれば成仏出来ると説いた時宗の開祖一遍、俳句や短歌の革新をなし、高浜虚子や河東碧梧桐へきごとうの後継者を育てた正岡子規などがあります。

週末の小旅行でも楽しめる愛媛県。県事務所で最新情報を手に入れて、より深く愛媛を楽しんで頂ければ幸いです。

愛媛県大阪事務所

大阪市西区江戸堀1の9の1肥後橋センタービル

電話06・6441・2829

掲載の記事・写真・イラスト等の全てのコンテンツ無断複写、転載を禁じます。

(株)ファッションビジネス・御堂筋新聞